

事業名称
会計管理事業

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	会計管理事業	歳計及び歳計外現金の出納・保管等	役務費	1,645	1,577				1,577	3
計				1,645	1,577	0	0	0	1,577	

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正かつ迅速な事務処理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			①支払事務を迅速に行うためには、正確な経理事務を行う必要がある ②公金の適正管理、運用を行うため			
活動指標	指標	a	経理事務説明会の実施	b	公金管理運営委員会の開催	c		d
	数値	目標	年2回(H23～)	目標	年2回	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適正かつ迅速な事務処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 経理事務説明会の実施	回	2回 100.0%	1回 50.0%	1回 50.0%
b 公金管理運営委員会の開催	回	2回 100.0%	2回 100.0%	2回 100.0%
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
添付資料の不備等により伝票を返却することが多く、財務会計システムに精通していない職員も見受けられる。また、公金取扱事務に対する職員の倫理観及び責任感を高める必要がある。
対応（改善点等）
一般職及び管理・監督職を対象とした説明会を実施すると共に庁内ネットワークを利用し、経理事務の周知・徹底を図る。また、公金の取扱及び事務処理について指導、検査を行う。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

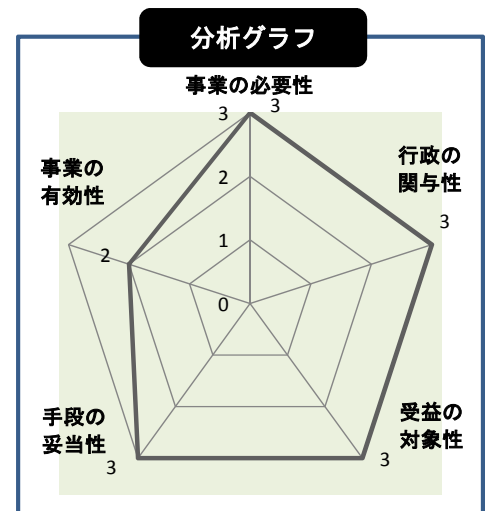
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		1,577	2,425	1,577	1,144
財源内訳	国費	1,577	2,425	1,577	1,144
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,577	2,425	1,577	1,144
	うち経常	1,577	2,425	1,577	1,144
事業費に係る人件費		30,745	30,056	25,020	24,972
事業費に係る人役		7.15	7.00	5.74	5.63

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
H26年度は必要最低限の事務費計上である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 必要不可欠な事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民、業者に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 更に公金出納事務の適正化に努める必要がある。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、公金の適正管理に努めること。